【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年８月12日
【四半期会計期間】	第121期第１四半期（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
【会社名】	サカイオーベックス株式会社
【英訳名】	SAKAI OVEX CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　松木 伸太郎
【本店の所在の場所】	福井市花堂中２丁目15番１号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【最寄りの連絡場所】	福井市花堂中２丁目15番１号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

回次	第120期 第１四半期連結 累計期間	第121期 第１四半期連結 累計期間	第120期
会計期間	自平成24年４月１日 至平成24年６月30日	自平成25年４月１日 至平成25年６月30日	自平成24年４月１日 至平成25年３月31日
売上高（千円）	5,385,414	5,009,631	20,665,326
経常利益（千円）	586,571	460,956	1,641,426
四半期（当期）純利益（千円）	386,481	303,950	1,006,984
四半期包括利益又は包括利益（千円）	334,915	568,473	1,459,049
純資産額（千円）	9,140,792	10,703,852	10,264,499
総資産額（千円）	20,277,226	21,170,516	20,312,098
１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	5.99	4.71	15.60
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	―	―	―
自己資本比率（%）	44.9	50.4	50.4

（注）１．当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
２．売上高には、消費税等は含まれていません。
３．潜在株式調整後１株当たり四半期(当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第１四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第２【事業の状況】

１【事業等のリスク】

当第１四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

２【経営上の重要な契約等】

当第１四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

３【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和や経済政策への期待感から円安、株高へと転じ、景況感は総じて改善傾向にありましたが、世界経済の回復遅れの影響もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

この様な経営環境の中、当社グループの当第１四半期の業況は、主力の染色加工事業を中心に減収となり、これを受け、営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも減益となりました。

当第１四半期の当社グループの売上高は5,009百万円と前年同期比375百万円（△7.0%）の減収となり、営業利益は370百万円と前年同期比144百万円（△28.0%）の減益、経常利益は460百万円と前年同期比125百万円（△21.4%）の減益、四半期純利益は303百万円と前年同期比82百万円（△21.4%）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

（染色加工事業）

当事業では、スポーツ用途、婦人用途は堅調に推移しましたが、医療介護資材用途、ユニフォーム用途が減少し、事業全体では減収となりました。利益面では、生産ロスの削減や製造原価の低減に努めたものの、原材料価格等の上昇もあり減益となりました。

当事業の売上高は、2,889百万円と前年同期比345百万円（△10.7%）の減収となり、営業利益は169百万円と前年同期比131百万円（△43.7%）の減益となりました。

（繊維販売事業）

テキスタイルは、拡販に注力したユニフォーム用途が堅調に推移し、アパレルは、小売業態への直販体制の構築を目指し、引き続き販路開拓に取り組みました。また、酒伊貿易（上海）有限公司は、縫製品を中心に中国国内での取引拡大に努めました。

当事業の売上高は、1,429百万円と前年同期比17百万円（1.2%）の増収となり、営業利益は148百万円と前年同期比9百万円（△5.9%）の減益となりました。

（その他の事業）

その他の事業のうち、電子機器事業及び水産資材事業は、大型案件の減少により減収となりましたが、建設不動産事業は、より地域に密着した営業活動を行なうことで需要の掘り起こしを進め、織布事業は、市況に一部回復の兆しが見られました。また、当期より事業化した複合部材事業は、差別化商品の訴求により新規顧客の開拓に注力しました。

その他事業の売上高は、690百万円と前年同期比47百万円（△6.5%）の減収となり、営業利益は22百万円と前年同期比22百万円（△49.5%）の減益となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第１四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

当第１四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、154百万円です。なお、当第１四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第３【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

（１）【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	224,000,000
計	224,000,000

②【発行済株式】

種類	第１四半期会計期間末現在発行数（株）（平成25年６月30日）	提出日現在発行数（株）（平成25年８月12日）	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	68,362,587	68,362,587	㈱東京証券取引所（第一部）	単元株式数1,000株
計	68,362,587	68,362,587	―	―

（２）【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

（３）【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

（４）【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

（５）【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数（千株）	発行済株式総数残高（千株）	資本金増減額（千円）	資本金残高（千円）	資本準備金増減額（千円）	資本準備金残高（千円）
平成25年４月１日～平成25年６月30日	―	68,362	―	4,655,044	―	1,536,986

（６）【大株主の状況】

当四半期会計期間は第１四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

（７）【議決権の状況】

当第１四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年３月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

①【発行済株式】

平成25年３月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	－	－	－
議決権制限株式（自己株式等）	－	－	－
議決権制限株式（その他）	－	－	－
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式　3,829,000	－	－
完全議決権株式（その他）	普通株式 64,359,000	64,359	－
単元未満株式	普通株式　　174,587	－	１単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	68,362,587	－	－
総株主の議決権	－	64,359	－

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれています。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数６個が含まれています。

②【自己株式等】

平成25年３月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サカイオーベックス株式会社	福井市花堂中二丁目15番１号	3,829,000	－	3,829,000	5.60
計	－	3,829,000	－	3,829,000	5.60

（注）１．上記の他、株主名簿上は当社名義となっていますが、実質的に所有していない株式が2,000株（議決権の数２個）あります。なお、当該株式数は、上記①「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」の欄に含まれています。
２．当第１四半期会計期間末の自己株式数は3,829千株です。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第４【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しています。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第１四半期連結会計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）及び第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

（1）【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,922	2,079,459
受取手形及び売掛金	※ 3,647,375	※ 3,834,156
有価証券	999	999
商品及び製品	739,766	743,955
仕掛品	383,387	451,900
原材料及び貯蔵品	253,282	245,775
その他	1,384,634	1,347,214
貸倒引当金	△31,172	△32,857
流動資産合計	7,996,196	8,670,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,038,173	3,023,935
機械装置及び運搬具（純額）	1,409,873	1,309,146
土地	2,653,076	2,653,485
リース資産（純額）	99,073	93,202
建設仮勘定	15,000	―
その他（純額）	52,967	48,959
有形固定資産合計	7,268,165	7,128,728
無形固定資産		
その他	60,380	66,988
無形固定資産合計	60,380	66,988
投資その他の資産		
出資金	2,754,928	3,106,040
その他	2,233,757	2,199,485
貸倒引当金	△1,330	△1,331
投資その他の資産合計	4,987,356	5,304,194
固定資産合計	12,315,902	12,499,911
資産合計	20,312,098	21,170,516

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 2,786,045	※ 2,775,884
短期借入金	1,873,220	1,966,746
未払法人税等	254,258	183,442
賞与引当金	443,512	232,135
その他の引当金	7,100	7,100
その他	649,729	1,129,826
流動負債合計	6,013,865	6,295,134
固定負債		
長期借入金	2,833,473	2,985,549
退職給付引当金	630,691	645,963
資産除去債務	104,863	105,185
その他	464,706	434,830
固定負債合計	4,033,734	4,171,529
負債合計	10,047,599	10,466,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	4,020,835	4,195,720
自己株式	△796,879	△796,933
株主資本合計	9,916,363	10,091,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,717	245,340
繰延ヘッジ損益	5,502	9,433
為替換算調整勘定	45,882	320,995
その他の包括利益累計額合計	312,101	575,770
少数株主持分	36,034	36,888
純資産合計	10,264,499	10,703,852
負債純資産合計	20,312,098	21,170,516

（２）【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
売上高	5,385,414	5,009,631
売上原価	4,364,116	4,167,301
売上総利益	1,021,298	842,329
販売費及び一般管理費	506,074	471,576
営業利益	515,223	370,753
営業外収益		
受取利息	453	421
受取配当金	20,438	23,712
持分法による投資利益	53,469	79,460
その他	23,390	10,501
営業外収益合計	97,752	114,095
営業外費用		
支払利息	22,815	19,527
その他	3,589	4,365
営業外費用合計	26,405	23,892
経常利益	586,571	460,956
特別利益		
投資有価証券売却益	―	294
助成金収入	1,740	16,019
特別利益合計	1,740	16,314
特別損失		
固定資産除却損	174	1
特別損失合計	174	1
税金等調整前四半期純利益	588,137	477,268
法人税、住民税及び事業税	217,796	202,005
法人税等調整額	△16,353	△29,535
法人税等合計	201,443	172,470
少数株主損益調整前四半期純利益	386,694	304,798
少数株主利益	212	847
四半期純利益	386,481	303,950

【四半期連結包括利益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	386,694	304,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176,601	△15,370
繰延ヘッジ損益	△1,969	3,931
為替換算調整勘定	867	3,461
持分法適用会社に対する持分相当額	125,925	271,652
その他の包括利益合計	△51,778	263,674
四半期包括利益	334,915	568,473
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,776	567,619
少数株主に係る四半期包括利益	138	853

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれています。

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
受取手形	60,063千円	50,853千円
支払手形	74,228	55,746

（四半期連結損益計算書関係）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る減価償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日)
減価償却費	183,494千円	164,559千円

（株主資本等関係）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	１株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年６月22日 定時株主総会	普通株式	129,073	2	平成24年３月31日	平成24年６月25日	利益剰余金

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	１株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年６月21日 定時株主総会	普通株式	129,066	2	平成25年３月31日	平成25年６月24日	利益剰余金

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	染色加工事業	繊維販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,235,085	1,411,708	4,646,794	738,620	5,385,414	－	5,385,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,642	9,469	16,112	115,817	131,929	△131,929	－
計	3,241,727	1,421,178	4,662,906	854,437	5,517,343	△131,929	5,385,414
セグメント利益	301,194	157,570	458,764	44,860	503,624	11,599	515,223

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

２．セグメント利益の調整額11,599千円は、セグメント間取引消去3,341千円、各報告セグメントに配 分していない全社費用8,257千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	染色加工事業	繊維販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,889,554	1,429,183	4,318,738	690,892	5,009,631	－	5,009,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,535	3,687	10,222	111,796	122,018	△122,018	－
計	2,896,090	1,432,870	4,328,960	802,689	5,131,650	△122,018	5,009,631
セグメント利益	169,628	148,246	317,875	22,638	340,513	30,239	370,753

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

２．セグメント利益の調整額30,239千円は、セグメント間取引消去3,520千円、各報告セグメントに配 分していない全社費用26,719千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
１株当たり四半期純利益金額	5円99銭	4円71銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	386,481	303,950
普通株主に帰属しない金額（千円）	―	―
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	386,481	303,950
普通株式の期中平均株式数（千株）	64,536	64,533

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

２【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年８月９日

サカイオーベックス株式会社
　取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岡田 芳明　印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	垂井　健　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサカイオーベックス株式会社の平成25年４月１日から平成26年３月31日までの連結会計年度の第１四半期連結会計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）及び第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サカイオーベックス株式会社及び連結子会社の平成25年６月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第１四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。
２．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。